

BACKNUMBER

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/

乗揚げ事故が多発！

～水深及び海域の情報を把握しましょう～

A丸は島と対岸の間を航行すれば問題ないと考え、搭載している電子海図で詳細な水深を確認することなく航行した結果、乗揚げ事故を起しました。



乗揚げたA丸

今回は幸いなことに乗組員及び船体への大きな被害はありませんでしたが、もし船体に穴が空き、油が大量に流出したら付近の海洋生物への影響は避けられません。



○海図等でしっかりと水深及び海域の情報を把握

海は見た目だけでは海面下の状況を知るのは難しいものです。不慣れた海域を航行する時は事前に海図等で水深及び海域の情報をしっかりと把握し、航行が難しそうな場合は迂回する等、無理のない航行に努めましょう。





<p>お金は掛かりますけど命あってのことですからねこれからも整備をお願いします</p> <p>機関が故障して救助にかかるお金に比べれば安いんじゃないの？</p>	<p>今回の安全指導を受けて俺は自分の海難防止に対する意識の低さを感じるとともに</p> <p>セカンドアブロー～またくるけん～ ・事故の原因 ・事故を防ぐために</p> <p>これからはしっかりと整備を行ってください</p> <p>はい！わかりました</p> <p>事故を起こさないための様々な知識を学ぶことができた。</p>
<p>今でも楽しい魚釣りライフを送っている</p> <p>それからというもの定期的にプロの整備士に船をみてもらうようになり</p> <p>あわり</p>	<p>それから船の修理をしてくれた整備士さんからもアドバイスを受けた</p> <p>にーちゃん、こりゃー素人で整備出来るものじゃないよ整備のプロにみてもらわんと・</p> <p>そうですよね</p>

知ってますか？ 海の安全情報での気象情報提供 (部埼灯台編)

海の安全情報では、日本沿岸の灯台等の航路標識（第七管区海上保安本部では 15 箇所）で観測した気象情報（風向・風速・気圧・波高など）を 30 分間ごとに更新し、提供しています。

6月は紫陽花が見頃な部埼灯台

気象観測を行う航路標識の名称及び観測種目

部埼灯台（風向・風速・気圧）

所在地

福岡県北九州市

北緯 33 度 57 分 34 秒

東経 131 度 01 分 23 秒

気象通報に使用する電話番号

093-322-1177（第七管区海上保安本部）

0834-27-5177（徳山海上保安部）



※海の安全情報の緊急情報配信サービスに登録すると「灯台で観測したリアルタイムな気象情報」「竜巻目撃情報・突風に関する緊急情報」「航行に支障をきたす流木などの漂流物情報」などの情報を入手することが出来ます。（登録は無料ですが、データ通信料は発生します。）

緊急情報配信サービス（電子メール配信サービス）



<https://www7.kaiho.milt.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

新規登録・登録変更・登録解除は、上記のURL、二次元コードの案内から、指定のメールアドレスへ空メールを送信し、返信される案内メールに沿って行ってください。

灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事の状況などの「海の安全情報」をインターネットから提供しています。

HPへは海の安全情報で検索！

海の安全情報

検索